

<夏休みを迎えるにあたって>

新年度が始まって3ヶ月半が過ぎました。1年の1/4が過ぎたことになります。この間、皆さんとの学校生活を通して忘れられない瞬間があります。

それは先日行われた合唱コンクールの結果発表の場面です。ステージから皆さんを見ていて、目標まで届かず落ち込んだ表情を見て、とても辛かったです。それまで皆さんや先生方が合唱に精一杯取り組んでいる姿を見てきたのでなおさらでした。4月にこの場で皆さんに話したこと。目標を持つこと。そしてその目標を達成するために3つの気を大切にすること。また、支え合う仲間が大切であること。そのどれをとっても皆さんは精一杯実践していたと思います。

「カメはゴールの先を見ている。」大切にしてほしいのは目標が達成できなかったその後です。「できなかったけどがんばったからいいじゃない。」では寂しいし、進歩がないと思います。「このままでは終わらせない。」西野監督の言う「足りなかったのは何なのか」を考えることが大切だと思います。代表の人の発表にはそれが表れていたのがうれしかったです。

校長として何ができるのかも考えました。吹奏楽部がない、ギター部がないと言い訳するのは簡単です。でもそれではだめだと思っています。音楽の部活動がなくともなんとか皆さんの音楽的な耳を鍛える方法を今考えています。

先生方の最終的な目標は皆さんに社会で勝負できる人になってもらいたいということです。いろいろな経験を通して勝負できる力をつけてほしいと思っています。夏休みのキャリアインターンシップもその一つです。38か所の事業所に協力してもらっています。多くのことを学んで、自分の将来をイメージできるようになってきてください。

また、社会で勝負できる大きな武器になるのは学力、知識です。何でこんな勉強しなければと思ったことはありませんか。間違いなく知識は自分の可能性を広げます。三者面談・家庭訪問で4月に行われた仙台市標準学力検査の結果が渡されます。残念ながら不得意教科、不得意分野のある人がいます。夏休み中に苦手を克服してほしいと思います。そのための手助けをお夏休み中に行います。昇降口前の会議室を土日とお盆を除いた毎日9時から15時まで学習ルームとして解放します。先生方が時々様子を見に行きますので、わからないところは是非質問したり教えてもらったりしてください。

部活動も目標を持って集中して取り組んでほしいと思っています。全国的に部活動の在り方が議論されている中、校長として先生方に部活動指導をお願いしなければなりません。皆さんが知っているように秋保中の先生方は部活動にも熱心に協力してくれます。だからこそ中途半端な気持ちではなく皆さんにも真剣に取り組んでほしいと思います。今日の放課後、駅伝チームのミーティングでもそのことを確認したいと思います。

明日からの夏休み、37日間あります。時間はたっぷりありますが、生活リズムを大切に、その時間を大切に有意義に使ってほしいと思います。夏休みにしかできないことに挑戦してください。行動範囲も広がるかと思っていますので、交通事故や犯罪等に巻き込まれないよう、防犯教室で教わったスマホ・ケイタイ、SNSの使い方などにも気をつけてほしいと思います。夏休み後に元気な、いい顔で皆さんと再会したいと思います。